

平成19年10月16日
経済産業省
原子力安全・保安院

埼玉県及び大分県における爆発・火災事故について

10月12日（金）、埼玉県の官公署庁舎において、台所の改修作業中、作業員が冷蔵庫のコンセントを差し込んだところ爆発し、台所内の茶ダンス等が破損するとともに、作業員1名が火傷（軽症）を負う事故が発生した旨報告がありました。

10月13日（土）、大分県の保育園において、屋外に設置された給湯器が、爆発音とともに発煙し、内部を焼損する事故（建物等の物損なし）が発生した旨報告がありました。

1. 事故の概要

（埼玉県の事故）

10月12日（金）、高圧ガス保安法に基づき、液化石油ガス販売事業者（株式会社サイサン）から埼玉県及び関東東北産業保安監督部に連絡があり、同日、埼玉県の官公署庁舎において、台所の改修作業中、作業員が冷蔵庫のコンセントを差し込んだところ爆発し、台所内の茶ダンス等が破損するとともに、作業員1名が火傷（軽症）を負う事故が発生した旨報告がありました。

台所内にあったガスコンロのツマミの誤開放によりLPガスが漏えいし、滞留したガスに引火したものと推定されますが、現在、原因を調査中です。

（大分県の事故）

10月14日（日）、高圧ガス保安法に基づき、液化石油ガス販売事業者（有限会社ナカマ商会）から大分県及び九州産業保安監督部に連絡があり、10月13日（土）、大分県の保育園において、屋外に設置されていた給湯器が、爆発音とともに発煙し、内部を焼損する事故（建物等物損なし）が発生した旨報告がありました。

現在、LPガス事故かどうかを含め、原因を調査中です。

なお、同様の情報を原子力安全・保安院のホームページに掲載しますのでお知らせします。

【掲載場所】

http://www.nisa.meti.go.jp/9_citygas/gas_accident.htm

【掲載内容】

(1) 埼玉県 of 事故

事業形態： 液化石油ガス販売事業
ガス種： LPガス
事故発生日時： 平成19年10月12日（金）9：57頃
事故発生場所： 埼玉県
被害状況： 火傷（軽症）1名
事故概要： 官公署庁舎において、台所の改修作業中、作業員が冷蔵庫のコンセントを差し込んだところ爆発し、台所内の茶ダンス等が破損するとともに、作業員1名が火傷（軽症）を負った。台所内にあったガスコンロのつまみの誤開放によりLPガスが漏えいし、滞留したガスに引火したものと推定されるが、現在、原因を調査中。
機器分類： 業務用コンロ（二口テーブルコンロ）

(参考情報)

業務用コンロ（二口テーブルコンロ）
製造者：オザキ株式会社
型式：OZ90-60DJ1
製造年：2007年9月製造

(2) 大分県 of 事故

事業形態： 液化石油ガス販売事業
ガス種： LPガス
事故発生日時： 平成19年10月13日（土）16：40頃
事故発生場所： 大分県
被害状況： 給湯器の内部焼損
事故概要： 大分県の保育園において、屋外に設置された給湯器が、爆発音とともに発煙し、内部を焼損した。（建物等物損なし）
現在、LPガス事故かどうかを含め、原因を調査中。
機器分類： 瞬間湯沸器（屋外壁掛型給湯器）

(参考情報)

瞬間湯沸器（屋外壁掛型給湯器）
製造者：株式会社ガスター（販売：株式会社ハーマン）
型式：OUR-3250Q（商品番号：YS3203R）
製造年：1999年12月製造

2. 注意喚起について

○ガス臭いと感じたら、すぐLPガス販売事業者へ連絡してください。

- ・ 火気は絶対に使用しないでください。
- ・ 着火源となる換気扇、電灯等のスイッチに絶対手を触れないでください。
- ・ 窓や戸を大きく開けましょう。
- ・ ガス栓を閉めましょう。
- ・ 地震や火災の時も、慌てず焦らずに、自分の安全を確保した後、ガス栓を閉めて下さい。

○火災になるおそれがあるため、ガスコンロなどの燃焼器を使用する際は、取扱説明書をよく読み、異常が生じた場合は無理に使用せず、購入した販売店やLPガス販売事業者へ連絡して下さい。

また、燃焼器の周囲には、燃えやすい物を置かないように注意して使用してください。

(本発表資料のお問い合わせ先)

原子力安全・保安院 液化石油ガス保安課

担当者：五十嵐、清水

電話：03-3501-1511（内線 4951～3）

03-3501-1672（直通）